



2014.2.12(水)

全校朝礼

おはようございます。

きょうは3年生にとって最後の全校朝礼ですね。私は皆さんに音楽で最後のメッセージを伝えたいと思います。先週の日曜日、辻井伸行さんというピアニストのコンサートに行きました。演奏を聴きながら私は「今、彼に神様が降りてきている。」と思いました。

こんな風を感じたのは初めてのことでした。

彼は今25才ですが、生まれてから一度も光を見たことがありません。盲目のピアニストです。彼は20才の時、「バァン クライバーン国際ピアノコンクール」というコンクールで優勝しました。その後精力的に活動を続け、今まさに世界で活躍するピアニストになりました。彼はとても謙虚に純粋に音楽と向き合っています。音楽を奏でることを本当に楽しみ、そして、それを聴いてももらえることに大きな喜びを感じています。

今から皆さんに見てもらおう映像はそのコンクールの時の演奏です。第1ラウンドで弾いたリスト作曲の「ラ・カンパネラ」。コンクールという大舞台で緊張しながらも上手に肩の力を抜いて、自分の力を出し切る姿から、3年生の人は入試にのぞむ今の自分の姿を重ねて思うかもしれません。あるいは目が不自由なのにすごいなあと圧倒されるかもしれません。

純粋に音楽に癒される感覚を味わってもいいと思います。色々な感じ方があると思いますが、集中して、心で、しっかり聴いてください。

**アメリカ テキサス州フォードワース、バス・パフォーマンスホールにて
辻井伸行（ピアノ） リスト作曲「ラ・カンパネラ」**



このあと、スタンディングオベーションにこたえて何回も何回もお辞儀をして、介添えの人と一緒に舞台のそでに戻るシーンが続きます。彼の演奏から、そして音楽から、私たちは大きくて不思議な力をもらいました。実はここにいる誰もが、相手に大きな力を与える人にもなれるのです。どんなハンディがあっても乗り越える姿、純粋さ、謙虚さ、一生懸命さ、夢、希望・・・

彼の演奏から、そして音楽からもらった力を誰かに与えられる力にかえていけたらいいなあと、私は今、思っています。